

認定特定非営利活動法人日本IDDMMネットワーク 平成26年度事業報告

平成26年7月 1日から
平成27年6月30日まで

1 事業の成果

○日本IDDMMネットワークの3つの約束

インスリンの補充が必須な患者とその家族一人ひとりが希望を持って生きられる社会を実現するために、平成22年度に“救う”“つなぐ”“解決する”の3つの約束を掲げました。

そして、平成23年度に開催した日本IDDMMネットワーク法人化10周年・1型糖尿病研究基金設立5周年記念シンポジウム開催を機に、最終ゴールは、2025年に1型糖尿病を「治らない」病気から「治る」病気にすることにしました。

その約束を果たすための平成26年度の主な取り組みは以下のとおりです。

なお、平成27年は日本IDDMMネットワーク創立20周年、1型糖尿病研究基金創設10周年にあたりゴールに向けた飛躍のきっかけとなる年だと思っています。

○“救う”－患者と家族の皆さんに私たちの経験を還元します。

地域患者・家族会への助成金の交付、20歳以上の患者支援策実現等に対する政策提言、患者の祖父母や学校・幼稚園等への説明用パンフレット、血糖測定器等を入れる「キティちゃんポーチ」、ジュースC グルコース及び1型糖尿病 [IDDMM] お役立ちマニュアル Part 1～5 の配布、電話・メール等での相談対応、ホームページでの情報発信、会報の発行などに取り組みました。

政策提言では、20歳以上の患者支援策実現に向けて活動を展開しましたが、実現には至っていません。平成27年1月1日施行の難病法（難病の患者に対する医療等に関する法律）に基づく対象疾病となり医療費助成が実現することを目指して次年度も引き続き優先課題として取り組みます。

発症初期の患者と家族にとって必要なもの（専門医監修によるわかりやすい医療情報冊子、療養に必要な医療機器やインスリン製剤の一覧、患者・家族の体験談等）を詰め込んだ「希望のバッグ」は、11月から配布を開始しました。注文が殺到し4月までに予定していた1000個の配布を終えました。このプロジェクトは1型糖尿病が「治る」病気になるまで継続する必要がありますので、継続的な支援を得られるスポンサー獲得と緊急の寄付要請に取り組みました。継続に向けて綱渡りの状況ではありますが、毎年発症している全国の患者全員（2000人を見込）に届けることができるように平成27年9月の再開を目指して準備を行っています。

なお、病歴の長い患者・家族からもこの希望のバッグに入っている医療情報冊子「1型糖尿病とその治療について最初に知ってもらいたいこと」が欲しいという声があがり、1型糖尿病 [IDDMM] お役立ちマニュアル Part 1 増刷（第4版）にあわせて、同 Part 1 の特別付録として販売を開始しました。

会報に加えてメールマガジンの配信を復活しました。好評でしたが患者の人手不足により定期的に出せないのが課題となっています。

○ “つなぐ”

－患者・家族と研究者、医療者、企業、行政、そして社会とつなぎます。

インスリンポンプとカーボカウントのセミナーは、引き続き好評で定員オーバーで参加をお断りする状態が続きました。多くの医療関係者にも参加いただき、確実に医療・療養環境の充実につながっていると認識しています。

日本語と英語併記で作成した1型糖尿病の絵本（1巻「はなちゃんとチクリとびょうきのおはなし」、2巻「パパとママとはなちゃんのおはなし」、3巻「1型糖尿病を2025年までに治します！」）は、READYFOR?（レディーフォー）「絵本を贈って、不治の病“1型糖尿病”の子どもたちを助きたい！」プロジェクトや1-GATA（元THE BOOMの山川浩正氏を中心に結成されたメンバー全員が患者のバンド）のご協力による「1型糖尿病」の絵本を贈ろう！プロジェクトチャリティライブ等のおかげで、海外を含めて全国47都道府県の病院、図書館等924か所に置くことができました。

「僕はまだがんばれる－“不治の病”1型糖尿病患者、大村詠一の挑戦－」をじゃこめてい出版から9月に発売し、発売と同時に1000部の増刷が決定しました。患者・家族以外の方々にも購入いただくことで病気の理解が進むと考えています。

また、100人委員でもある山田圭子氏の漫画「1型。～1型糖尿病の少女・愛～」がプリンセスゴールドに連載され、「【1型】～この赤ちゃん1型糖尿病です～」として秋田書店から単行本発行に至り、その印税は全額1型糖尿病研究基金へ寄付されることになりました。

このほか、学校等での各種講演、島田市役所の広報誌掲載、高校同窓会のWEB掲載、中学生対象の総合的な学習や社会科の副読本用に制作された本への掲載、動画配信等を通して、1型糖尿病の認知度が大きく向上したと認識しています。

さらに、カバヤ食品株式会社様と当法人との協働事業”1型糖尿病の患者のためのジュース事業”が、NPOと企業との優れたパートナーシップ事例を表彰する「第11回日本パートナーシップ大賞グランプリ」を受賞しました。この受賞に当たっては、地域に飛び出す公務員（岡山市職員、鳥取県職員）の貢献が大でした。この受賞を機に、ジュースの最低販売単位の見直し（10本セット、20本セットでの購入可へ）等に繋がりました。

○ “解決する”

－研究者の方々に研究費を助成し、1型糖尿病の根治への道を開きます。

1型糖尿病の治療につながるあらゆる先進的な研究を応援する「1型糖尿病研究基金」による第6回の研究費助成（3件500万円）を行い、続いて第7回の公募も行い1件300万円の助成を決定しました。これにより累計では、助成件数14件、助成金額1800万円となりました。さらに佐賀県庁への当法人指定のふるさと納税を財源とする助成総額1200万円（過去最高額）で8回目となる研究課題の公募を開始しました。年度内に3回の研究費助成と公募を行ったのは初めてのことです。

『1型糖尿病 2025年「治らない」から「治る」へ』をテーマに据えた日本IDDMMネットワーク創立20周年及び1型糖尿病研究基金創設10周年記念サイエンスフォーラムは、トヨタ自動車創業の地（名古屋市）で開催し大盛会でした。当日は研究資金集めのパーティもGENKING氏をゲストに迎え、ソフトバンクモバイル株式会社様、サラヤ株式会社様等の協賛を得ながら開催することができました。1型糖尿病を「治る」病気に変えようとしている医療者・研究者や患者・家族のみならず病気を知らない方々の参加も得て、「治る」病気になることへの期待感が高まっています。

1型糖尿病の根治のため、寄付に対し税制優遇措置が受けられる全国初の所轄庁（都道府県・政令市）認定特定非営利活動法人として、その利点をいかすために様々なメニューを用意して寄付のお願いをしました。

阪神タイガースの岩田稔投手の1勝10万円寄付、ノーモア注射希望の本プロジェクト（家庭や職場で不要になった本を提供していただき寄付へ）、書き損じはがきプロジェクト（家庭や職場にある書き損じ、未使用のはがきを提供していただき寄付へ）、寄付つき商品等多彩なメニューによる取り組みもあり、本年度の1型糖尿病研究金には11,731,898円（佐賀県庁へのふるさと納税を除く、前年度比1.4倍）という過去最高の寄付がよせられ、今後の継続的な研究費助成が確実なものとなりました。

こうした寄付メニューの中でもノーモア注射マンスリーサポーター（1口1,000円を毎月口座から自動的に引き落とし）の強化に取り組み、299口135名（前年度比57名増）となりました。「希望の自動販売機プロジェクト」は、企業、医療機関、公共施設、ショッピングセンター等にご協力いただき、累計設置台数が46台（当年度7台新設）となりました。この自動販売機は、売上の一部が寄付になるだけでなく、1型糖尿病のことを掲示しており、病気の啓発にも寄与しています。

gooddo（グッドゥ）（毎週「応援する！」ボタンやサポーター企業への「いいね！」のクリックで得られたポイントに応じて支援金が届けられます。さらに、上位10団体までは、支援金額が2倍になります。）は、10位以内をほぼ全週達成（1週のみ11位）し、研究費助成の財源はもとより、累計で30万人を超える方々が日本IDDMMネットワークのページを訪れ、1型糖尿病の啓発にも大きく寄与したものと思います。また、1型糖尿病の理解と研究支援の寄付を呼びかける「gooddo 動画アワード」で3位に入賞しました。

ソフトバンクモバイル株式会社の「かざして募金」（スマートフォンなどから簡単に寄付ができるサービス）は、560,400円という実績でしたが、次年度はさらに取組を強化いたします。なお、9月まで開催されたかざして募金の「ハートラッピングプロジェクト」では最高ランク（期間中500回以上の寄付）に到達し表彰を受けました。

佐賀県とふるさと納税ポータルサイト「ふるさとチョイス」（株式会社トラストバンク運営）のご協力により、「日本IDDMMネットワーク」を指定した佐賀県庁へのふるさと納税（寄付）に取組みました。平成26年度（佐賀県庁の会計年度：4月－3月）は研究費助成のために13,000,600円、27年度（同）は、6月末現在7,556,000円の寄付を頂戴しています。なお、このうちの一部154万円は「希望のバッグ」事業を指定されています。平成26年度（4月－3月）の寄付額は全額、平成27年度（4月－3月）は寄付額の95%が佐賀

県議会の議決を経て、当法人へ寄付される見込みです。本年度（当法人の年度）は、このうち1200万円を佐賀県庁から交付（寄付）いただき、第8回研究費助成で「iPS細胞による再生医療」を重点課題として公募しています。公募に当たっては、助成を受ける研究者の方々には佐賀県内での講演等を条件としています。

特にふるさとチョイスへの掲載は、「iPS細胞による根治研究支援」のお願い時は期間中約200万人が訪れたサイトのトップページに掲載（2回目となる「バイオ人工膵島による根治研究支援」のお願い時は前回の「iPS細胞による根治研究支援」お願い時の約4倍の訪問が見込まれる）され、たくさんの応援メッセージを頂戴しました。このふるさと納税を申し込まれている方々の8割が患者・家族以外と推測され、この研究支援寄付が1型糖尿病の啓発にも大きく寄与するということも発見、確信しました。

READYFOR?（レディーフォー）（運営：READYFOR株式会社）の「絵本を贈って、不治の病“1型糖尿病”の子どもたちを助けたい！」プロジェクトは、目標金額を達成することができ、クラウドファンディングへの大きな自信につながりました。同じくREADYFOR?の「みんなでかなえる1億円プロジェクト」（当法人と大学の研究機関との協働による根治研究資金調達）は最終選考で落選しましたが、次年度に向けて新たな研究資金調達のヒントとチャンスを得ました。

一方で、ファンドレイジング（資金調達）業務の委託を行いました十分な成果を得ることはできませんでした。非営利セクターでのファンドレイジングは営利企業の第一線で活躍していたからと言っても成果が出せるとは限らず、その大変さを改めて実感しました。

平成23年1月に発足した『1型糖尿病「治らない」から「治る」―“不可能を可能にする”―を応援する100人委員会』の委員は117名となりました（前年度比10名増）。ノーベル医学・生理学賞を受賞された京都大学iPS細胞研究所長の山中伸弥氏をはじめ、作家・映画監督の村上龍氏、プロ野球阪神タイガースの岩田稔氏、京都大学名誉教授の西川伸一氏、株式会社大塚製薬工場研究開発センター特別顧問の松本慎一氏ほか様々な分野の方々に“参加”いただいています。加えて『1型糖尿病「治らない」から「治る」―“不可能を可能にする”―を応援する希望の100社委員会』は1社加盟いただき計18企業・団体となり、「治る」活動支援等の参加表明をいただいています。なお、この100社委員会のPRは十分に取組むことができず反省しています。

こうした様々な事業の結果、広報事業費が増加し、研究助成財源獲得のためのショップ閉鎖という失敗もありましたが、根治に向けての研究費支援は着実に前進しており、2025年には1型糖尿病が“治る”病気になるよう取組を一層強化して行きます。

管理運営面では、上記のように業務が拡大しており、役職員が相当無理をしています。常勤職員1名が体調不良により退職したことに伴い、平成27年4月からは常勤職員1名体制から女性の活躍が発展の扉を開くことを期待し、3名体制としました。子育て中も勤務できるよう、勤務時間は希望に応じ、勤務場所は在宅ワーク可としています。依然として業務に見合った十分な組織運営体制と言える状況にはありませんが、一方で、今年度も83名のボランティア

の方々に助けられました。また、公務員のプロボノワーカー（職業上のスキルをいかしたボランティア）1名を次期理事に就任要請しました。

日本IDDMMネットワークは、2年連続で過去最高の決算額を更新しています。特に前年度が15か月決算であったにも関わらず1.3倍の収入増を達成しました。ミッション達成に向けて、患者・家族のみならず一般社会を巻き込んだ共感の輪が広がりつつあります。

2 事業の実施に関する事項
 (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
ネットワークの拡大・支援					患者及びその家族等	61
ネットワークの拡大・支援	○地域患者・家族会の活性化のために下記の団体に助成金を2万円交付した。 ・岡山小児糖尿病協会 ・熊本つぼみの会 ・広島「もみじの会」	10月20日 3月3日 5月27日	佐賀市	2人	53人 24人 77人	
ネットワークの拡大・支援	○地域患者・家族会の下記の事業に対し、後援を行った。 ・つぼみの会愛知・岐阜主催の「1型糖尿病患者児の療養および学校との連携についての教職員向け研修会」 ・岡山小児糖尿病協会(岡山つぼみの会)主催の「1型糖尿病患者児の療養及び学校との連携についての研修会」 ・つぼみの会三重主催の「1型糖尿病先生方と患者・家族との研修会」 ・佐賀県糖尿病協会、佐賀糖尿病療養指導士会等主催の「第1回佐賀type1DM サロン」	7月30日 8月18日 8月26日 3月15日	名古屋市 岡山市 津市 佐賀市	1人 1人 1人 2人	81人 130人 99人 99人	
情報収集提供・政策提言					患者及びその家族等	7746
情報収集提供・政策提言	○発症初期の患者と家族にとって必要な情報を詰め込んだ「希望のバッグ」を1000個配布した。 <バッグに入っているもの> ・専門医による医療情報冊子「1型糖尿病とその治療について最初に知ってほしいこと」 ・療養に必要な医療機器やインスリン製剤の一覧 ・患者と家族の体験談 ・学校、幼稚園、保育園への説明用パンフレット ・注射器や血糖測定器を入れるキティちゃんポーチ ほか	11月～	東京都 安城市 大阪市 佐賀市 大津町 ほか	6人	3000人	
情報収集提供・政策提言	○難病指定、障害認定等による20歳以上の患者への公的支援の実現に向けて国との意見交換や要請を行った。	通年	東京都 安城市 佐賀市 ほか	3人	60000人	
情報収集提供・政策提言	○特別児童扶養手当の適正な認定事務に向けて該当する地方自治体に対して制度の周知徹底を要請した。	通年	安城市 ほか	1人	20000人	

2 事業の実施に関する事項
 (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
情報収集提供・政策提言	○内閣総理大臣への規制改革会議の「規制改革に関する第3次答申」の中の「新医薬品の14日間処方日数制限の見直し」に当たって、大村詠一専務理事が意見を述べた。	4月	東京都	1人	60000人	
情報収集提供・政策提言	「再生医療等の安全性の確保等に関する法律等に関する通知案に対する意見の募集について」意見を表明し、同法における「臍島移植」の扱いについて厚生労働大臣に要望書(臍島移植にブレーキがかからないように)を提出した。	10月	東京都 安城市	1人	60000人	
情報収集提供・政策提言	○患者の祖父母向けパンフレットを患者・家族等へ配布した。	通年	佐賀市 ほか	3人	60000人	
情報収集提供・政策提言	○東京学芸大学と協働で作成した学校、幼稚園等での説明用パンフレット「教えて、りんりん！ RinRin 1型糖尿病ってどんな病気？」を患者・家族等へ配布した。	通年	佐賀市 ほか	4人	20000人	
情報収集提供・政策提言	○(株)サンリオ様の協力を得て、ロシュ・ダイアグノスティックス(株)様から提供いただいた血糖測定器等を入れる「キティちゃんポーチ」等を、患者・家族等へ配布した。	通年	佐賀市 ほか	3人	60000人	
情報収集提供・政策提言	○カバヤ食品(株)様から提供いただいたブドウ糖(グルコース)を主成分とした手軽な糖分補給が可能なタブレット「ジューCグルコース」を患者・家族等へ配布した。12月にはアンケート調査を行い、7月からの注文最低単位の見直しにつながった。 なお、この取り組みが、NPOと企業との優れたパートナーシップ事例を表彰する「第11回日本パートナーシップ大賞」で「1型糖尿病の患者のためのジューC事業」として、グランプリに選ばれた。	通年	岡山市 佐賀市 ほか	6人	60000人	
情報収集提供・政策提言	○1型糖尿病に関する様々な情報を発信するGoogle+ページを開設した。	8月15日～	大津町	1人	60000人	
情報収集提供・政策提言	○医療経済9月1日号に井上理事長の「究極のゴール疾患根絶に向けて」と題したインタビュー記事が掲載された。	9月1日	安城市	1人	60000人	
情報収集提供・政策提言	○「1型糖尿病[IDDM]レポート2014」(IDDM白書)を200部作成し、ホームページ上でも公開した。	10月～	東京都 安城市 佐賀市 大津町	5人	60000人	

2 事業の実施に関する事項
 (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
情報収集提供・政策提言	○カーボカウント&先進デバイス活用セミナーを引き続き開催した。	11月22日 12月20日 2月1日 3月7日	東京都 東京都 名古屋市 東京都	15人 12人 16人 12人	105人 105人 112人 111人	
情報収集提供・政策提言	○第1回九州膝島移植フォーラムを開催した。	1月10日	福岡市	9人	55人	
情報収集提供・政策提言	○1型糖尿病と当法人の活動概要を紹介したリーフレット”「治らない」から「治る」へ”を10000部増刷した。	3月	佐賀市	1人	60000人	
情報収集提供・政策提言	○主婦の友社「図解でわかる糖尿病」に「1型糖尿病の情報元」として当法人が掲載された。	5月10日	安城市 佐賀市	2人	60000人	
情報収集提供・政策提言	○その他、日本糖尿病学会年次学術集会、日本膝・膝島移植研究会(学術集会)、日本糖尿病教育・看護学会学術集会等で情報収集や情報発信を行った。	通年	東京都 岐阜市 下関市 ほか	3人	60000人	
調査研究					患者及びその家族等	2965
調査研究	○1型糖尿病患者・家族等に必要情報を網羅した「1型糖尿病[IDDM]お役立ちマニュアル」Part1からPart5(別冊を含む6種類)を配布・販売した。	通年	佐賀市 ほか	4人	60000人	
調査研究	○「1型糖尿病[IDDM]お役立ちマニュアルPart1(初級編)」の第4版(特別付録「1型糖尿病とその治療について最初に知ってもらいたいこと」付き)を2000部発行した。	3月	安城市 佐賀市	3人	60000人	
調査研究	○スタンフォード大学が開発した「セルフマネジメントプログラム」の普及に取り組む特定非営利活動法人日本慢性疾患セルフマネジメント協会への協力を行った。	通年	佐賀市	1人	60000人	
調査研究	○2025年の1型糖尿病の根治に向けたファンドレイジング(資金調達)活動強化のために外部委託を含めて検討、実践した。	12月～6月	東京都 安城市 佐賀市	2人	60000人	

2 事業の実施に関する事項
 (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
調査研究	<p>○以下の調査・研究等に協力を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Asrid、難病・慢性疾患全国フォーラム実行委員会、JPAによる「難病法施行後の難病対策に関する患者団体意識調査」及び「希少・難治性疾患に関する書籍・映画に関するアンケート」 ・長野県(県民協働課)の寄付募集事業に係る調査 ・認定特定非営利活動法人等の活動状況に関するアンケート調査(内閣府) ・特定非営利活動法人に関する実態調査(内閣府) ・認定NPO法人優遇税制緊急アンケート調査(特定非営利活動法人シーズ・市民活動を支える制度をつくる会) ・「認定NPOの戦略と組織」に関するアンケート調査(立教大学経営学部) 	通年	佐賀市 大津町	3人	60000人	
関係団体との連携					患者及びその家族等	426
関係団体との連携	<p>○JDRF(米国の1型糖尿病研究財団)日本糖尿病学会関係者、日本難病・疾病団体協議会(JPA)等と1型糖尿病患者の将来のために情報交換等を行った。</p>	通年	東京都 安城市 佐賀市 ほか	3人	60000人	
関係団体との連携	<p>○韓国小児糖尿人協会の招きで、井上理事長夫妻が第1回日韓交流懇談会と第4回小児糖尿人シンポジウムに出席した。</p> <p>○日本IDDMネットワークの招きで、韓国小児糖尿人協会の金光勲会長等が当法人主催のサイエンスフォーラムに出席した。</p>	12月19日 ~20日	ソウル市	2人	160人	
		5月30日	名古屋市	2人	244人	
普及啓発					患者及びその家族等	556
普及啓発	<p>○「僕はまだがんばれるー“不治の病”1型糖尿病患者、大村詠一の挑戦ー」を3000部作成し、じゃこめてい出版から販売した。その後、好評につき1000部増刷された。</p>	9月	安城市 佐賀市 大津町	4人	60000人	
普及啓発	<p>○阪神タイガース岩田稔投手(1型糖尿病患者)の患者との試合観戦・交流会(阪神対ヤクルト戦、阪神対横浜DeNA戦)に協力し、マスコミ5紙に取り上げられた。</p>	7月30日 8月3日	西宮市 西宮市	6人 6人	60000人	

2 事業の実施に関する事項
 (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
普及啓発	○阪神タイガースの岩田稔投手から1勝10万円(計100万円)が1型糖尿病研究基金に寄付され、スポーツ新聞など5紙に1型糖尿病が取り上げられた。	11月22日	西宮市	2人	60000人	
普及啓発	○全国各地の小・中学校、高等学校、公民館、イベント等で、大村詠一専務理事が1型糖尿病に関する講演を26回行った。	通年	全国各地	1人	60000人	
普及啓発	○日本糖尿病協会が取り組むサマーキャンプ等での講演活動が評価され、大村専務理事が日本糖尿病協会からパラメデス賞を受賞し、第2回日本糖尿病協会療養指導学術集会に参加した医療従事者に対し講演を行った。	7月12日	京都市	1人	60000人	
普及啓発	○日本糖尿病協会が取り組むサマーキャンプ等に大村詠一専務理事が参加し、患者や家族、医療従事者等に対し体験談などの講演を4回行った。	7月～8月	天童市ほか	1人	60000人	
普及啓発	○毎日新聞に『ジューCグルコース「なくならないで」存続切望 カバヤ食品、1型糖尿病患者のため開発』の見出しで、1型糖尿病について掲載された。	7月29日	岡山市 佐賀市 大津町	3人	60000人	
普及啓発	○パブリックリソース財団主催の研修会「オンライン寄付調達を学ぼう！2014」で、岩永幸三副理事長が、1型糖尿病と日本IDDMネットワークの活動について講演を行った。	8月27日	東京都	1人	60000人	
普及啓発	○佐賀未来創造基金主催の「3秒で志金集め！? gooddo導入&攻略セミナー」で、岩永幸三副理事長が、1型糖尿病と日本IDDMネットワークの活動について講演を行った。	10月11日	佐賀市	1人	60000人	
普及啓発	○東北学院榴ヶ岡高等学校で、井上理事長が、1型糖尿病と日本IDDMネットワークの活動について講演を行った。当高校では生徒会活動として「ノーモア注射～希望の本プロジェクト」に協力いただいた。	10月17日	仙台市	2人	60000人	
普及啓発	○佐賀未来創造基金主催の「ソーシャルメディアコミュニケーションセミナー(前篇)ふるさと納税活用&攻略セミナー～地域で活用する善意の資金循環～」で、岩永幸三副理事長が、1型糖尿病と日本IDDMネットワークの活動について講演を行った。	10月19日	佐賀市	1人	60000人	

2 事業の実施に関する事項
 (1)特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
普及啓発	○朝日新聞に「闘病生活 ひげのヒーロー」の見出しで、1型糖尿病と阪神タイガース岩田投手の1型糖尿病研究基金への寄付等について掲載された。	10月29日	安城市	1人	60000人	
普及啓発	○佐賀未来創造基金主催の「ソーシャルメディアコミュニケーションセミナー(後篇)クラウドファンディング! ~地域で活用する善意の資金循環~」で、岩永幸三副理事長が、1型糖尿病と日本IDDMネットワークの活動について講演を行った。	11月8日	佐賀市	1人	60000人	
普及啓発	○島田市役所の「広報しまだ」の「特集: ~生きる証~難病を考える」の中で1型糖尿病と日本IDDMネットワークの活動について掲載された。	11月14日	佐賀市	1人	60000人	
普及啓発	○株式会社オンフェイス(東京海上日動代理店)様のご協力により「いちほらコスモスフェスタ」で1型糖尿病と日本IDDMネットワークの活動を周知した。	11月16日	市原市	2人	60000人	
普及啓発	○山田圭子氏による1型糖尿病の少年を主人公にした漫画「Hello, World」を日本IDDMネットワークのWEBで日本語版、英語版で公開した。	11月~	東京都 安城市 佐賀市	3人	60000人	
普及啓発	○新潟県央工業高校同窓会及び新潟県央工業高校山岳部OB会のWEBに1型糖尿病研究基金について掲載された。当会には「ノーモア注射~希望の本プロジェクト」等に協力いただいた。	11月~	東京都 佐賀市	2人	60000人	
普及啓発	○毎日新聞、東京新聞、中日新聞等に「希望のバッグ」と1型糖尿病について掲載された。	12月~1月	安城市	1人	60000人	
普及啓発	○RKB毎日放送のニュースで、1型糖尿病と啓発用の絵本について放映された。	1月22日	佐賀市 ほか	3人	60000人	
普及啓発	○平成26年度宮崎県NPO企画力等向上研修「SNSを知らなかったおじさんが挑戦したクラウドファンディング~Give One、gooddo(グッドゥ)、READYFOR?(レディーフォー)、ふるさとチョイスでの取り組みから~」で、岩永幸三副理事長が、1型糖尿病と日本IDDMネットワークの活動について講演を行った。	1月24日	宮崎市	2人	60000人	

2 事業の実施に関する事項
 (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
普及啓発	○ファンドレイジング・日本2015での「gooddo動画祭」にて、当法人の動画が紹介された。	2月14日	東京都	1人	60000人	
普及啓発	○女性自身の「シリーズ 人間」の中で、元THE BOOMの山川浩正氏を中心に結成されたメンバー全員が1型糖尿病のバンド「1-GATA」が紹介され、1型糖尿病の絵本を贈ろう！チャリティライブでの正式デビューや1型糖尿病等について掲載された。	2月17日	大津町	2人	60000人	
普及啓発	○患者会の事務局運営や広報の担当者へのインタビュー記事を掲載する「患者会を広報する」で岩永幸三副理事長兼事務局長が取り上げられ、1型糖尿病や日本IDDMネットワークの活動について掲載された。	2月28日～	東京都 佐賀市	1人	60000人	
普及啓発	○佐賀新聞に、当法人の日本パートナーシップ大賞(企業と協働で社会貢献)受賞が紹介され、1型糖尿病とジューCグルコースについて掲載された。	3月21日	佐賀市	1人	60000人	
普及啓発	○特定非営利活動法人佐賀県CSO推進機構の役職員研修で、岩永幸三副理事長が、1型糖尿病と日本IDDMネットワークの活動について講演を行った。	3月22日	佐賀市	1人	60000人	
普及啓発	○朝日新聞に、漫画【「1型」～この赤ちゃん、1型糖尿病です～】(山田圭子氏作)が紹介され、1型糖尿病と1型糖尿病研究基金(印税収入は当研究基金に寄付)について掲載された。	5月10日	安城市	1人	60000人	
普及啓発	○自分らしく生きるフリーランスの女性を応援するプラットフォームサイト「Rhythmooon」の「未来へ紡ぐストーリー」で岩永幸三副理事長兼事務局長がインタビューを受け、1型糖尿病や日本IDDMネットワークの活動について掲載された。	5月7日～	佐賀市	1人	60000人	
普及啓発	○サノフィ株式会社主催の「第3回Type 1DM summit」にて、大村詠一専務理事が、患者としての体験談を小児科医、内科医の前で講演した。	5月9日	東京都	1人	60000人	

2 事業の実施に関する事項
 (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
普及啓発	○子どもたちが簡単に社会貢献を学べる1冊「社会に貢献する～Youth Philanthropy in Global Community～」(日本ファンドレイジング協会発行)に1型糖尿病と日本IDDMネットワークの活動が掲載された。主に中学生を対象とし、総合的学習の時間や社会科の副読本として活用しやすいように制作されている。	5月15日～	安城市 佐賀市	2人	60000人	
普及啓発	○公益財団法人日本対がん協会のリレー・フォー・ライフくまもと2015に大村専務理事が出演し、がん患者や家族、医療従事者等に対し体験談などの講演を行った。	5月15日	熊本市	1人	60000人	
普及啓発	○Medエッジ(DeNAライフサイエンスが運営する医療と健康に関連した情報を提供するウェブサイト)に、西川伸一京都大学名誉教授から当法人の20周年サイエンスフォーラムの紹介並びに「日本IDDMネットワークは認定NPO法人で、寄付に対する税制優遇措置を受けることができる数少ない患者団体の一つ。活動を見ていると、間違いなく今後も発展が続くと確信する。」として紹介された。	5月31日	安城市	1人	60000人	
療育相談					患者及びその家族等	939
療育相談	○電子メール(89件)、面談(1件)、相談電話(44件)、ホームページ(353,121件)等を通して、様々な相談等に対応した。	通年	東京都 安城市 木津川市 佐賀市 大津町 和水町 ほか	8人	60000人	
療育相談	○1型糖尿病を持つ女性・家族と看護職者のためのセミナー「共に語ろう妊娠・出産」を糖尿病女性のリプロダクティブヘルスに関わる支援ネットワークシステムの構築研究班(主任研究者:田中佳代久留米大学医学部看護学科母性看護学准教授)と共催で開催した。	11月9日	久留米市	24人	47人	
会報発行					患者及びその家族等	691
会報発行	○会員等への情報提供のため、会報を8月号は4000部、1月号は5000部発行した。	8月31日 1月31日	佐賀市 ほか	5人	60000人	

2 事業の実施に関する事項
 (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
会報発行	○会員等への情報提供のため、メールマガジンを配信した。これに伴い、無料でメールマガジンを受け取れる登録制度を開始した。	7月26日 8月8日 9月3日 9月17日 10月8日 10月29日 11月19日 12月22日 1月8日	大津町 ほか	3人	60000人	
1型糖尿病研究基金 (特別会計) 研究費助成					患者及び その家族 等	5000
1型糖尿病研究基金 (特別会計) 研究費助成	<p>○1型糖尿病の根絶につながるあらゆる研究を応援する「1型糖尿病研究基金」の第6回研究費助成の公募を行い、14件の応募の中から下記の3件の助成を行った。</p> <p>※今回から①研究助成対象分野を従来の「根治」のみならず、現在のインスリン補充療法を発展させる「治療」並びに新たな発症を防ぐ「予防」にまで拡大②助成期間を最長3年、助成額の上限を300万円まで拡大した。</p> <p>・ヒトiPS細胞から機能的な膵島の創製とそれを用いた治療法の開発 研究代表者: 桑昭苑熊本大学発生医学研究所教授 助成額: 300万円</p> <p>・iPS腸管(iGut)を用いた膵臓(iPanc)の臓器分化誘導法の開発 研究代表者: 山田高嗣奈良県立医科大学 消化器・総合外科講師 助成額: 100万円</p> <p>・糖尿病治療のための人工膵臓を目指した薬物放出システムの開発 研究代表者: 三林浩二東京医科歯科大学 生体材料工学研究所教授 助成額: 100万円</p>	7月22日 8月12日	東京都 安城市 佐賀市 大津町 ほか	11人	60000人	

2 事業の実施に関する事項
 (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
1型糖尿病研究基金 (特別会計) 研究費助成	<p>○1型糖尿病の根絶につながるあらゆる研究を応援する「1型糖尿病研究基金」の第7回研究費助成の公募を行い、12件の応募の中から下記の1件の助成を決定した。</p> <p>・募集期間: 1月19日～4月13日</p> <p>・助成総額:300万円</p> <p>※助成金の交付は平成27年度に実施。</p> <p>・ウイルス糖尿病高感受性マウスの開発ー糖尿病誘発性ウイルスの同定によるワクチン開発を目指してー</p> <p>研究代表者:永淵正法九州大学大学院医学研究院教授</p> <p>助成額:300万円</p>	1月～6月	東京都 安城市 佐賀市 大津町 ほか	11人	60000人	
1型糖尿病研究基金 (特別会計) 研究費助成	<p>○1型糖尿病の根絶につながるあらゆる研究を応援する「1型糖尿病研究基金」の第8回研究費助成の公募を開始した。</p> <p>・募集期間: 6月15日～9月14日</p> <p>・助成総額:1200万円</p> <p>※今回は佐賀県庁の平成26年度の協力により実施した「日本IDDMネットワーク指定のふるさと納税」による寄付金を財源とし、「iPS細胞による再生医療」を重点課題とした。</p>	5月～	東京都 安城市 佐賀市	4人	60000人	

2 事業の実施に関する事項
 (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
1型糖尿病研究基金(特別会計)シンポジウム					患者及びその家族等	1359
1型糖尿病研究基金(特別会計)シンポジウム	<p>○「日本IDDMネットワーク 創立20周年記念、1型糖尿病研究基金創設10周年記念サイエンスフォーラムー1型糖尿病2025年『治らない』から『治る』へー」を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サイエンスカフェのプロローグ「第6回1型糖尿病研究基金助成対象研究の紹介」 ・1型糖尿病を題材にした映画”Answer”上映とトークセッション ・サイエンスカフェ等の分科会 <ul style="list-style-type: none"> ①「ヒトiPS細胞から膵島の創製」 ②「iPS腸管からの機能的な膵臓の再生」 ③「血糖をエネルギー源とした人工膵臓の開発」 ④「先進デバイスによるインスリン療法」 ⑤患者と家族の交流会(高齢患者、成人発症患者、発症初期の患者と家族等にわかれてのフリートーク) ・クロージングセッション <ul style="list-style-type: none"> ①「低血糖アラート犬の国内導入に向けて」木村那智ソレイユ千種クリニック院長 ②応援団の紹介等(カバヤ食品様、ソフトバンクモバイル様、メドトロニック様) ③新たな研究助成プロジェクト開始 	5月30日	名古屋市	78人	244人	
1型糖尿病研究基金(特別会計)広報					患者及びその家族等	10863
1型糖尿病研究基金(特別会計)広報	<p>○1型糖尿病「治らない」から「治る」ー“不可能を可能にする”ーを応援する100人委員会の委員が117名となった。</p> <p><100人委員会の役割></p> <ul style="list-style-type: none"> ・不可能を可能にするこの取り組みを“社会に発信”する。 ・不可能を可能にするこの取り組みの“戦略に助言”する。 ・不可能を可能にするこの取り組みに“参加”し患者と家族に勇気を与える。 	通年	安城市 佐賀市	2人	60000人	

2 事業の実施に関する事項
 (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
1型糖尿病研究基金(特別会計) 広報	○1型糖尿病「治らない」から「治る」ー“不可能を可能にする”ーを応援する希望の100社委員会の委員が18社・団体となった。各社・団体からは、様々な「治る」活動支援等の参加表明が寄せられている。	通年	安城市 岡山市 佐賀市 大津町	4人	60000人	
1型糖尿病研究基金(特別会計) 広報	○「1型糖尿病」の絵本を贈ろう! プロジェクト~「1型糖尿病」を知ってもらうための絵本を全国の病院の待合室などに届けたい! ~で海外、全国47都道府県の病院、図書館等924か所に置くことができた。 ※絵本の収益は研究費助成に活用。	通年	佐賀市 大津町 ほか	9人	60000人	
1型糖尿病研究基金(特別会計) 広報	○gooddo株式会社様のご協力で、社会貢献プラットフォーム「gooddo」で日本IDDMネットワークへの応援クリック、いいね等で1型糖尿病根治に向けた研究支援を呼びかけた。	通年	佐賀市 大津町 ほか	2人	60000人	
1型糖尿病研究基金(特別会計) 広報	○公益財団法人パブリックリソース財団様のご協力により、オンライン寄付サイト「Give One(ギブワン)」で「不治の病“1型糖尿病”の子どもたちを助きたい!」と題して、1型糖尿病研究基金への寄付をお願いした。	通年	佐賀市 ほか	5人	60000人	
1型糖尿病研究基金(特別会計) 広報	○毎月定額(1口1000円)で当研究基金のサポートをいただくノーモア注射マンスリーサポーターを増やすために株式会社バリオーサに電話での協力要請等の業務委託を行った。	~12月	東京都 安城市 佐賀市	4人	60000人	
1型糖尿病研究基金(特別会計) 広報	○かざして募金による当研究基金への寄付を増やすためにgooddo株式会社に広報業務委託を行った。	11月~	東京都 安城市 佐賀市 大津町	3人	60000人	
1型糖尿病研究基金(特別会計) 広報	○READYFOR?(レディーフォー)で「絵本を贈って、不治の病“1型糖尿病”の子どもたちを助きたい!」に挑戦し、目標額を達成した。 期間:2014年5月29日~7月13日 目標:1,000,000円 実績:1,221,000円 80人からの支援有	(5月29日)~7月13日	東京都 安城市 久留米市 大川市 佐賀市 大津町 ほか	9人	60000人	

2 事業の実施に関する事項
 (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
1型糖尿病研究基金(特別会計) 広報	○「ふるさとチョイス」(株式会社トラストバンク運営)と協働し、佐賀県庁への日本IDDMネットワーク指定のふるさと納税(寄付)で、iPS細胞による根治研究支援を呼びかけた。 目標: 10,000,000円 実績: 10,252,500円 422人からの支援有	(5月30日)~8月9日	東京都 安城市 佐賀市 大津町	5人	60000人	
1型糖尿病研究基金(特別会計) 広報	○ソフトバンク社様主催のハートラッピングプロジェクトで、かざして募金による1型糖尿病研究基金への支援を呼びかけ、寄付回数548回を達成(500回を達成したのは全国で5団体)し表彰された。	(6月9日)~9月30日	東京都 安城市 佐賀市 大津町	4人	60000人	
1型糖尿病研究基金(特別会計) 広報	○1型糖尿病の絵本、チクリのポロシャツやピンバッジ等を販売し研究費助成に充てるネットショップ「チクリのお店」を売上不振のため閉鎖した。	7月29日	佐賀市 ほか	3人	60000人	
1型糖尿病研究基金(特別会計) 広報	○毎月定額(1口1000円)で当研究基金のサポートをいただくノーモア注射マンスリーサポーターご協力をお願いのパンフレットを3000部増刷した。	8月	佐賀市	1人	60000人	
1型糖尿病研究基金(特別会計) 広報	○ふるさと納税の日本IDDMネットワーク指定による研究支援について毎日新聞の社説等に掲載された。	8月8日 8月18日	佐賀市	1人	60000人	
1型糖尿病研究基金(特別会計) 広報	○ソフトバンク社様のかざして募金レターで1型糖尿病とかざして募金による1型糖尿病研究基金の取組について配信された。	10月10日	佐賀市	1人	60000人	
1型糖尿病研究基金(特別会計) 広報	○“1型糖尿病~2025年「治らない」から「治る」へ 私たちの挑戦への『参加』のお願い”のメニューを網羅したクリアファイルを2000部増刷した。	12月	佐賀市	1人	60000人	
1型糖尿病研究基金(特別会計) 広報	○「年末年始の片付け&寄付で1型糖尿病”根絶”研究支援を！」と題して、寄付、古本・書き損じ年賀状等の提供をお願いした。	12月~1月	安城市 佐賀市 大津町 ほか	5人	60000人	
1型糖尿病研究基金(特別会計) 広報	○1型糖尿病の啓発と1型糖尿病研究基金への支援を呼びかける動画で「gooddo動画アワード」に参加し3位に入賞した。	12月16日~22日	佐賀市 大津町	2人	60000人	

2 事業の実施に関する事項
 (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
1型糖尿病研究基金(特別会計) 広報	○書き損じハガキの提供を呼びかけるチラシを5000部増刷した。	1月	佐賀市	1人	60000人	
1型糖尿病研究基金(特別会計) 広報	○「1型糖尿病」の絵本を贈ろう!プロジェクトチャリティライブを開催した。	1月25日	東京都	7人	74人	
1型糖尿病研究基金(特別会計) 広報	○ソフトバンク社様のフェイスブック、ツイッター等で1型糖尿病の啓発とかざして募金による1型糖尿病研究基金への支援について配信された。	1月29日	佐賀市 大津町	2人	60000人	
1型糖尿病研究基金(特別会計) 広報	○山田圭子氏によるコミックス「【1型】～この赤ちゃん1型糖尿病です～」が秋田書店から発行され、印税は1型糖尿病研究基金に寄付されることになった。	2月16日 ～	安城市 ほか	4人	60000人	
1型糖尿病研究基金(特別会計) 広報	○日本IDDMネットワーク創設20周年、1型糖尿病研究基金創設10周年を記念して、「Cheer up! FAMILY チャリティーパーティー」を開催した。 ・ゲスト: GENKING様 ・ビデオ出演: 山中伸弥様(京都iPS細胞研究所長)、村上龍様(作家・映画監督)、岩田稔様(阪神タイガース)、1-GATA様(ミュージシャン) ・協賛・協力: ソフトバンクモバイル株式会社様、サラヤ株式会社様、カバヤ食品株式会社様、株式会社 KOMPEITO様、株式会社マザーレンカ様	5月30日	名古屋市	24人	74人	
1型糖尿病研究基金(特別会計) 広報	○阪神タイガース様が「岩田稔選手プロデュースグッズ」を各タイガースショップで販売され、その売上の一部を岩田稔選手から1型糖尿病研究基金へ寄付されることになった。その第1号は岩田選手プロデュースでココリコ・遠藤章造氏とのコラボキャップ。	6月6日～	西宮市 ほか	1人	60000人	
1型糖尿病研究基金(特別会計) 広報	○新たな動画「『私、一生治らないの?』毎日、自分で注射を打って生きる子どもたち』を作成し、1型糖尿病の啓発とかざして募金等による1型糖尿病研究基金への支援を呼びかけた。	6月	東京都 安城市 佐賀市 大津町	3人	60000人	

2 事業の実施に関する事項
 (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
1型糖尿病研究基金(特別会計) 広報	○「ふるさとチョイス」(株式会社トラストバンク運営)と協働し、佐賀県庁への日本IDDMネットワーク指定のふるさと納税(寄付)で、バイオ人工膵島による根治研究支援を呼びかけた。 目標:30,000,000円	6月2日～	東京都 佐賀市 大津町	6人	60000人	
1型糖尿病研究基金(特別会計) <主な寄付金収入実績>						
1型糖尿病研究基金(特別会計)	○阪神タイガースの岩田稔投手から1勝10万円(計100万円)が当研究基金に寄付され、スポーツ新聞など5紙に取り上げられ、1型糖尿病の啓発にも繋がった。	11月22日	西宮市	2人	60000人	
1型糖尿病研究基金(特別会計)	○毎月定額(1口1000円)で当研究基金のサポートをいただくノーモア注射マンスリーサポーターから寄付を頂戴した。 サポーター数:135名で299口 寄付金額:2,928,000円	通年	全国各地	5人	60000人	
1型糖尿病研究基金(特別会計)	○コカ・コーラグループ各社様、(株)伊藤園様、サントリービバレッジサービス(株)様、(株)ジャパンビバレッジホールディングス様、大塚食品(株)様及び株式会社エフ・ヴィ・コーポレーション様並びに難病・慢性疾患患者支援自動販売機を設置いただいた皆様のご協力により、その飲料売上額の一部が当研究基金へ寄付された。 設置台数:46台(7台新設) 寄付金額:1,486,302円	通年	仙台市 下野市 千葉市 東京都 三条市 富山市 白山市 福井市 小浜市 鯖江市 越前市 南越前町 おおい町 名古屋市 京都市 綾部市 枚方市 門真市 東大阪市 神戸市 広陵町 岡山市 福山市 佐賀市 大分市	5人	60000人	

2 事業の実施に関する事項
 (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
1型糖尿病研究基金(特別会計)	○(株)バリューブックス様と協働で家庭や職場に眠っている古本を提供いただく「～ノーモア注射～希望の本プロジェクト」により寄付を頂戴した。 冊数: 18,418冊 寄付金額: 315,750円	通年	全国各地	5人	60000人	
1型糖尿病研究基金(特別会計)	○(株)バリューブックス様の協力で家庭や職場にある書き損じ・未使用のハガキを提供いただく「書き損じハガキプロジェクト」により寄付を頂戴した。 枚数: 4,590枚 寄付金額: 240,400円	通年	全国各地	5人	60000人	
1型糖尿病研究基金(特別会計)	○ソフトバンクモバイル(株)様のご協力で、スマートフォンなどから寄付できる「かざして募金」により寄付を頂戴した。 寄付金額: 560,400円	通年	全国各地	5人	60000人	
1型糖尿病研究基金(特別会計)	○有限会社プレシャス・アイ様から、病気や緊急連絡先などの情報を伝えるためのアクセサリーMedical ID(医療識別票)をMEDIC INFOショップで日本IDDMネットワーク専用クーポンコードを使用して購入された場合、売上の10%に自社からの寄付を加え当研究基金へ寄付された。 寄付金額: 50,000円	通年	全国各地	1人	60000人	
1型糖尿病研究基金(特別会計)	○エクセルエイド少額短期保険株式会社様の「ふおーりっくぶろぐらむ」(インターネットからの保険契約1件につき一定額を寄付)から保険加入者の意向により当研究基金へ寄付された。 寄付金額: 15,500円	通年	全国各地	1人	60000人	

(2) その他の事業 該当なし

平成26年度 活動計算書
平成26年7月1日から平成27年6月30日まで
認定特定非営利活動法人日本IDDMネットワーク

科目	金額 (単位: 円)		
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	498,000		
賛助会員受取会費	264,000		
その他の会員受取会費	1,257,000	2,019,000	
2. 受取寄附金			
受取寄附金 (活動一般)	6,576,659		
受取寄附金 (1型糖尿病研究基金)	23,731,898	30,308,557	
3. 受取助成金等			
受取助成金	831,104		
受取負担金	11,321,850	12,152,954	
4. 事業収益			
お役立ちマニュアル事業収益	1,852,863		
絵本等事業収益	392,045		
ストーリー本事業収益	394,113		
その他事業収益	447,000	3,086,021	
5. その他収益			
受取利息	2,725		
雑収益	660,011	662,736	
経常収益計			48,229,268
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	0		
法定福利費	0		
人件費計	0		
(2) その他経費			
売上原価	1,174,325		
業務委託費	8,652,749		
印刷製本費	2,597,701		
諸謝金	133,644		
会議費	296,007		
賃借料	724,716		
消耗品費	72,256		
水道光熱費	0		
旅費交通費	2,405,831		
支払手数料	1,050,902		
租税公課	0		
通信運搬費	3,400,515		
諸会費	318,000		
新聞・図書費	5,292		
支払寄付金	5,307,440		
地代家賃	90,000		
支援用物品費	4,239,370		
雑費	132,512		
その他経費計	30,601,260	30,601,260	
事業費計			
2. 管理費			
(1) 人件費			
給料手当	2,102,582		
法定福利費	242,408		
人件費計	2,344,990		
(2) その他経費			
売上原価			
業務委託費	2,347,320		
印刷製本費	194,080		
諸謝金	0		
会議費	9,432		
賃借料	12,400		
消耗品費	331,616		
水道光熱費	45,334		
旅費交通費	406,035		
支払手数料	371,485		
租税公課	1,715		
通信運搬費	330,634		
諸会費	0		
新聞・図書費	0		
支払寄付金	0		
地代家賃	393,120		
支援用物品費	0		
雑費	23,710		
その他経費計	4,466,881	6,811,871	
管理費計			
経常費用計			37,413,131
当期経常増減額			10,816,137
III 経常外収益			
1. 固定資産売却益		0	
2. 過年度損益修正益		1,404,000	
経常外収益計			1,404,000
IV 経常外費用			
1. 固定資産除・売却損		0	
2. 過年度損益修正損		0	
経常外費用計			0
税引前当期正味財産増減額			12,220,137
法人税、住民税及び事業税			170,000
当期正味財産増減額			12,050,137
前期繰越正味財産額			22,821,773
次期繰越正味財産額			34,871,910

※本年度は「その他の事業」は実施していません。

平成26年度 計算書類の注記

認定特定非営利活動法人日本IDDMネットワーク

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準（NPO法人会計基準協議会作成）によっています。

(1) 消費税の会計処理は、税込方式によっています。

2. 事業別損益の状況

<一般会計>

(単位：円)

科目	ネットワー クの拡大 ・支援	情報収集提 供・政策提言	調査研究	関係団体と の連携	普及啓発	療育相談	会報発行	東日本 大震災 対策	事業部門計	管理部門	合計
I 経常収益											
1. 受取会費											2,019,000
2. 受取寄付金											6,576,659
3. 受取助成金等											7,255,850
4. 事業収益											2,246,976
5. その他収益											657,592
経常収益計											18,756,077
II 経常費用											
(1) 人件費											
給料手当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,102,582	2,102,582
法定福利費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	242,408	242,408
人件費計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,344,990	2,344,990
(2) その他経費											
売上原価	0	0	630,888	0	384,696	0	0	0	1,015,584	0	1,015,584
業務委託費	0	214,270	1,867,600	0	0	884,980	122,980	0	3,089,830	2,347,320	5,437,150
印刷製本費	0	1,545,756	8,100	0	58,320	0	221,104	0	1,833,280	194,080	2,027,360
諸謝金	0	111,370	0	0	0	0	0	0	111,370	0	111,370
会議費	0	245,020	1,740	11,825	0	0	0	0	258,585	9,432	268,017
賃借料	0	262,470	0	0	0	0	0	0	262,470	12,400	274,870
消耗品費	0	50,914	2,519	0	250	0	0	0	53,683	318,656	372,339
水道光熱費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	45,334	45,334
旅費交通費	0	897,824	100,896	172,530	87,425	1,720	0	0	1,260,395	406,035	1,666,430
支払手数料	432	26,918	210,660	340	0	216	0	0	238,566	5,394	243,960
租税公課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,715	1,715
通信運搬費	0	1,863,753	86,901	767	25,042	51,840	346,119	0	2,374,422	327,972	2,702,394
諸会費	0	39,000	51,000	228,000	0	0	0	0	318,000	0	318,000
新聞・図書費	0	1,080	4,212	0	0	0	0	0	5,292	0	5,292
支払寄付金	60,000	247,440	0	0	0	0	0	0	307,440	0	307,440
地代家賃	0	0	0	0	0	0	0	0	0	393,120	393,120
支援用物品費	0	2,229,660	0	0	0	0	0	0	2,229,660	0	2,229,660
雑費	0	10,023	0	11,887	0	0	0	0	21,910	23,710	45,620
その他経費計	60,432	7,745,498	2,964,516	425,349	555,733	938,756	690,203	0	13,380,487	4,085,168	17,465,655
経常費用計	60,432	7,745,498	2,964,516	425,349	555,733	938,756	690,203	0	13,380,487	6,430,158	19,810,645
当期経常増減額											-1,054,568

<1型糖尿病研究基金特別会計>

(単位：円)

科目	1型糖尿病 研究助成金	シンポジウム	広報	事業部門計	管理部門	合計
I 経常収益						
1. 受取会費						0
2. 受取寄付金						23,731,898
3. 受取助成金等						4,897,104
4. 事業収益						839,045
5. その他収益						5,144
経常収益計						29,473,191
II 経常費用						
(1) 人件費						
給料手当	0	0	0	0	0	0
法定福利費	0	0	0	0	0	0
人件費計	0	0	0	0	0	0
(2) その他経費						
売上原価	0	0	158,741	158,741	0	158,741
業務委託費	0	93,096	5,469,823	5,562,919	0	5,562,919
印刷製本費	0	173,360	591,061	764,421	0	764,421
諸謝金	0	22,274	0	22,274	0	22,274
会議費	0	30,845	6,577	37,422	0	37,422
賃借料	0	437,572	24,674	462,246	0	462,246
消耗品費	0	5,996	12,577	18,573	12,960	31,533
水道光熱費	0	0	0	0	0	0
旅費交通費	0	548,662	596,774	1,145,436	0	1,145,436
支払手数料	0	1,188	811,148	812,336	366,091	1,178,427
租税公課	0	0	0	0	0	0
通信運搬費	0	40,495	985,598	1,026,093	2,662	1,028,755
諸会費	0	0	0	0	0	0
新聞・図書費	0	0	0	0	0	0
支払寄付金	5,000,000	0	0	5,000,000	0	5,000,000
地代家賃	0	0	90,000	90,000	0	90,000
支援用物品費	0	0	2,009,710	2,009,710	0	2,009,710
雑費	0	4,681	105,921	110,602	0	110,602
その他経費計	5,000,000	1,358,169	10,862,604	17,220,773	381,713	17,602,486
経常費用計	5,000,000	1,358,169	10,862,604	17,220,773	381,713	17,602,486
当期経常増減額						11,870,705

3. 使途等が制約された寄附金等の内訳

使途等が制約された寄附金等の内訳（正味財産の増減及び残高の状況）は以下の通りです。

当法人の正味財産は34,871,910円ですが、そのうち12,000,000円は、下記のように使途が特定されています。

したがって使途が制約されていない正味財産は22,871,910円です。

(単位：円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
社会福祉法人丸紅基金	1,433,128	0	1,433,128	0	「希望のバッグ」事業で使用
佐賀県	0	12,000,000	0	12,000,000	期末残高は平成27年11月までに研究費助成として使用
合計	1,433,128	12,000,000	1,433,128	12,000,000	

平成26年度貸借対照表

平成27年6月30日現在
認定特定非営利活動法人日本IDDMネットワーク
(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	26,523,250		
未収会費	9,000		
未収入金	2,182,565		
立替金	250,000		
棚卸資産	8,300,776		
貯蔵品	720		
流動資産合計		37,266,311	
2 固定資産			
固定資産合計		0	
資 産 合 計			37,266,311
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	2,183,049		
未払法人税	170,000		
前受金	41,352		
短期借入金	0		
預り金	0		
流動負債合計		2,394,401	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負 債 合 計			2,394,401
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		22,821,773	
当期正味財産増加額		12,050,137	
正味財産合計			34,871,910
負債及び正味財産合計			37,266,311

平成26年度財産目録

平成27年6月30日現在
 認定特定非営利活動法人日本IDDMネットワーク
 (単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金 現金手許有高(一般会計)	17,518		
現金 現金手許有高(特別会計)	0		
普通預金 みずほ銀行佐賀支店(一般会計)	988,959		
普通預金 みずほ銀行佐賀支店(特別会計)	4,821,843		
普通預金 みずほ銀行佐賀支店(収益事業)	356,386		
普通預金 百五銀行員弁支店(一般会計)	0		
普通預金 三井住友銀行佐賀支店(一般会計)	0		
郵便貯金 福岡貯金事務センター(一般会計)	264,960		
郵便貯金 福岡貯金事務センター(特別会計)	1,854,964		
郵便貯金 福岡貯金事務センター(収益事業)	155,291		
郵便貯金 ゆうちょ銀行総合口座通帳(一般会計)	53,445		
定額貯金(3年) ゆうちょ銀行(一般会計)	1,000		
定期預金(1年) みずほ銀行佐賀支店(一般会計)	3,005,401		
定期預金(3月) みずほ銀行佐賀支店(特別会計)	12,000,000		
定期貯金(1年) ゆうちょ銀行(一般会計)	3,003,483		
未収会費(一般会計)	9,000		
未収入金			
未収入金(一般会計)	272,000		
未収入金(特別会計)	1,332,346		
未収入金(収益事業)	578,219		
立替金(収益事業)	250,000		
棚卸資産			
お役立ちマニュアル(収益事業)	6,365,307		
絵本(収益事業)	903,170		
ストーリー本(収益事業)	1,019,304		
グッズ(収益事業)	12,995		
貯蔵品(一般会計)	720		
流動資産合計		37,266,311	
2 固定資産			
固定資産合計		0	
資 産 合 計			37,266,311
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金			
未払金(一般会計)	553,014		
未払金(特別会計)	1,625,471		
未払金(収益事業)	4,564		
未払法人税(収益事業)	170,000		
前受金(一般会計)	41,352		
流動負債合計		2,394,401	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負 債 合 計			2,394,401
正 味 財 産			34,871,910

注) 定額貯金、定期預金及び定期貯金(1年)の合計額6,009,884円が東京事務所開設準備積立金である。

前事業年度の年間役員名簿

平成26年7月1日から平成27年6月30日まで

認定特定非営利活動法人日本IDDMネットワーク

役職名	氏名	住所又は居所	就任期間	報酬を受けた期間
理事長	井上 龍夫	愛知県安城市	26年7月1日 ～27年6月30日	該当なし
副理事長	岩永 幸三	佐賀県佐賀市	26年7月1日 ～27年6月30日	該当なし
専務理事	大村 詠一	熊本県菊池郡大津町	26年7月1日 ～27年6月30日	該当なし
理事	後藤 昌史	宮城県仙台市	26年7月1日 ～27年6月30日	該当なし
理事	山本 康史	三重県伊勢市	26年7月1日 ～27年6月30日	該当なし
理事	松本 慎一	兵庫県神戸市	26年7月1日 ～27年6月30日	該当なし
監事	古賀 敏久	福岡県久留米市	26年9月1日 ～27年6月30日	該当なし
監事	中島 幸良	佐賀県佐賀市	26年7月1日 ～26年9月1日	該当なし

前事業年度の社員のうち10人以上の者の名簿

平成27年6月30日現在

認定特定非営利活動法人日本IDDネットワーク

氏 名	住 所 又 は 居 所
けやきの会 代表者：塩沼正人	宮城県名取市
特定非営利活動法人秋田県1型糖尿病の会 代表者：宮下正弘	秋田県秋田市
信州ぶらんこの会 代表者：白石直人	長野県松本市
特定非営利活動法人補食の会 代表者：西田均	富山県砺波市
大阪くるみの会 代表者：高嶋一郎	大阪府高槻市
大阪杉の子会 代表者：園部政和	大阪府大阪市
岡山小児糖尿病協会 代表者：多賀 徹	岡山県岡山市
広島「もみじの会」 代表者：寺西明子	広島県広島市
特定非営利活動法人DMユース佐賀 代表者：坂本匡	佐賀県佐賀市
DM風の会 代表者：陶山えつ子	熊本県玉名郡和水町